

ビジネスチャット「LINE WORKS (ラインワークス)」を 活用してみませんか！！

近年、自治会員の高齢化等が課題となり、デジタル化を導入し、少しでも役員の負担軽減を図る動きがみられます。今回は、気軽にデジタル化の導入を始められるツールとして「LINE WORKS」について、ご紹介いたします。

LINE WORKS とは…情報や予定を共有しあって活動する、組織・チームのためのコミュニケーションツールです。LINE という名前は付いていますが、LINE WORKS と LINE の運営会社は異なります。(兄弟会社)

LINE WORKS と通常の LINE の違い

	LINE WORKS	LINE
利用用途	法人や団体向け	個人向け
メンバー登録方法	専用の ID とパスワードで登録	個人の連絡先で登録
管理者の設置	置くことができる	置くことができない
データの保存先	クラウド	端末
未読・既読の確認	個人ごとに既読確認	既読数のみ表示
経費	最大 30 名までのグループなら無料 ストレージ 5GB まで ※有料コース、オプションなどもあり。	無料



LINE WORKS を導入するメリット



- ①操作方法が通常の LINE に近いので、導入のハードルが低い
- ②一般的な LINE の機能 + ビジネス機能が付いてより便利！
例) 設備予約機能を使って、自治会館の予約や予約状況の確認がスムーズにできる。
カレンダー機能を使って、活動状況を役員間で共有できる。
- ③セキュリティーレベルが高水準
例) 外部には公開できない個人情報書類を、特定のメンバーだけがファイルにアクセスできるように設定ができる。(自治会長のみ閲覧可等)
- ④個人情報を教え合わなくてもグループがつかれ、プライベートの LINE と分けて使える！プライベート LINE との大きな違い！！
- ⑤未読・既読が個人単位で確認ができて安心！

今回、ご紹介した LINE WORKS の活用法は、役員間の情報共有などを目的とした紹介でしたが、自治全体で活用されているところも多くあります。電子掲示板機能を使用して回覧板を廃止したり、アンケート機能を使用して災害時の安否確認を行う等、活用次第で、役員の負担軽減になります。ここでは、ご紹介しきれない便利な機能がたくさんあります。詳しくは、LINE WORKS のホームページをご覧ください。

引用 (LINE WORKS ホームページ) : <https://line-works.com>